

所属

氏名

飢餓人口 紛争で大きく増加

* 8億1500万人

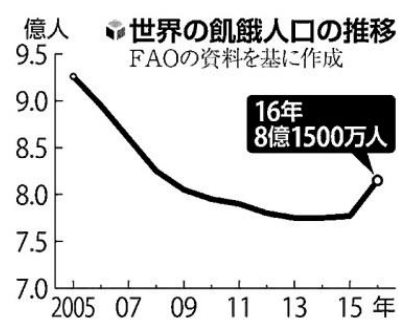
世界で飢えに苦しむ飢餓人口が再び増加している。国連によると、16年の飢餓人口(推定)は8億1500万人で、前年に比べて3800万人増えた。世界人口の11%に当たる。国連や先進国の支援に加え、途上国の経済発展もあり、このところ減少傾向にあったが、16年は大きく増加

した。

FAOが9月に公表した報告書によると、要因の一つには、世界各地で起きている紛争の増加がある。16年だけでも紛争や治安の悪化でシリアやソマリア、南スーダンなど13か国で大量の移民や難民が発生した。飢えに苦しむ人々のうち、約6割はこうした紛争地帯に暮らしているとき

れば、飢えに苦しむ人々をさらに生み出す恐れもある。気候変動も大きな要因だ。16年には「アフリカの角」と呼ばれるエチオピアやケニアなどで大規模な干ばつに見舞われ、深刻な食料不足に陥った。食料生産が打撃を受ければ、紛争などがなくても、飢えに苦しむ人々が増える。

農村部は、農業以外に生計を立てる手段に乏しい。農作物の不作は社会の不安定化につながりやすく、移



(2017年10月13日 読売新聞夕刊より)

世界の飢餓人口が増える一方で、食べられるのに捨てられている「食品ロス」は世界で年間約13億トンに上る。世界で1年間に作られる食料の実に3分の1に相当する。

日本の食品ロスも多い。農林水産省によると、その量は年間約621万トンに上る。東京ドーム5杯分に当たり、国連世界食糧計画(WFP)が1年間に実施する食料援助量(約320万トン)を上回る。1人が毎日、茶わん1杯分のご飯を捨てている計算だ。

少しでも食品ロスを減らすと、具体的な取り組みも始まっている。

「ロス」世界で年13億トン



のに廃棄される食品を、生活に困っている人に配る「フードバンク」と呼ばれるボランティア活動だ。日本国内で約80団体が活動しており、賞味期限が近づいてスーパーなどに納品しない商品や、包装が破れて販売できない食品を、生活困窮者や福祉施設などに届けている。フランスではスー

パーなどに対し、売れ残った食品の廃棄を法律で禁止、ボランティア団体などへの寄付を義務づけている。

ただ、これらの取り組みは、それぞれの国内での活動が中心だ。飢えに苦しむ途上国などに、いかに食料を行き届かせるかが課題となっている。

注 WFP=国連世界食糧計画 FAO=国連食糧農業機関

気流

食品ロス減らしませんか

◆世界の飢餓人口が増える一方で、食べられるのに捨てられている「食品ロス」は世界で年間13億トンにも上っています。これは世界で1年間に作られる食料の実に3分の1に相当する量。日本の食品ロスも年間約621万トン(東京ドーム5杯分)に達しており、気流欄には、小学生から現状を案じる投書も寄せられました。

【問】世界の飢餓人口の増加や「食品ロス」についてあなたは どう考えますか。400字程度で自由に意見を述べてください。

小学生 (茨城県八千代町) 11 砂漠以南の地域では、多くの人がうえているそうです。日本はそうした国々を支える立場にあるのに、国民がたくさんの食品をはいきしていいのでしょうか。食品はとても貴重です。食べられる食料が手に入らない国も多くあります。アフリカのサハラ

(2017年10月12日 読売新聞朝刊より)